

第三者評価結果入力シート（母子生活支援施設）

種別	母子生活支援施設
----	----------

①第三者評価機関名

社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会

②評価調査者研修修了番号

SK18224
0901A006

③施設名等

名称：	白浜なぎさホーム
施設長氏名：	所長 吉田 暢子
定員：	20世帯
所在地(都道府県)：	和歌山県
所在地(市町村以下)：	西牟婁郡白浜町3148-38
T E L：	0739-42-4615
U R L：	http://nagisa-home.com/
【施設の概要】	
開設年月日	昭和45年9月
経営法人・設置主体（法人名等）：	紀南地方児童福祉施設組合
職員数 常勤職員：	6名
職員数 非常勤職員：	1名
有資格職員の名称（ア）	保育士
上記有資格職員の人数：	4名
有資格職員の名称（イ）	社会福祉士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（ウ）	
上記有資格職員の人数：	名
有資格職員の名称（エ）	
上記有資格職員の人数：	名
有資格職員の名称（オ）	
上記有資格職員の人数：	名
有資格職員の名称（カ）	
上記有資格職員の人数：	名
施設設備の概要（ア）居室数：	定員20世帯 1661.79㎡、居室数22室（ショートステイ室含）
施設設備の概要（イ）設備等：	地域住民も利用できる避難タワー（屋上）
施設設備の概要（ウ）：	オール電化
施設設備の概要（エ）：	セキュリティシステム（緊急ボタン）完備

④理念・基本方針

<p>【理念】 母と子の生きる力を支えます</p> <p>【基本方針】 ①母と子それぞれが抱える個別の課題に対して、目的や目標を明確にした合理的で計画的な一貫した専門的支援を行う。 ②母と子の課題を理解し、親子・家庭のあり方を重視した支援を行う。 ③母と子が自己の意思で課題を解決できるように、個々の気持ちに寄りそった支援を行う。 ④必要な手続きを分かりやすく説明し、必要に応じて職員が関係機関等への同行及び代弁を行う。</p>
--

⑤施設の特徴的な取組

- (1)母と子どもが抱える問題に対して、日ごろから同行支援や補完保育等、母子の心情を尊重しながら後方支援に重きを置いた母子中心の取り組みを心がけている。
- (2)利用者のプライバシー保護を徹底している。例えば「郵便物は、配達員が玄関口の各世帯の郵便ボックスに直接投函する。宅配物は、ルームコールで直接手渡す」等工夫がみられる。
- (3)就労経歴十数年以上の経験豊富な職員構成にあっても、日々変わりゆく母子支援のニーズを敏感にキャッチし現場に反映すべく、積極的に研修に参加し支援の質を充実させている。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2020/6/8	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2021/12/1	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成29年度	

⑦総評

◇特に評価が高い点

- (1)切れ目のない支援：職員は6人の少人数構成だが、誰しも母子支援に意識が高く職員一丸となって利用者ひとり一人の安心安全かつ健全な生活維持に取り組んでいる。例えば、近隣に子どもが少なく、地域で子ども間の交流が希薄になるところは、学校（バス通学）近くの学童を活用し積極的に同学齢交流の機会を持つ取り組みを行っている。
- (2)切れ目のない運営管理：現場経験の長い施設長は、自らも現場シフトに入り支援のノウハウをコーティングするとともに、運営管理部門では職員と協同することで母子支援の次世代を担う管理職を育成する仕組みを取り入れ、より良い継続するサービスの提供を心がけています。職員も施設長の意図を組んで積極的に研鑽に励んでいる。

◇改善が求められる点

- (1)母子生活支援機能の拡充：母子生活支援施設が長年にわたり蓄積した「ひとり親の子育て・就労自立、子どもの自立援助」のスキルを、施設内にとどまらず広域地域に還元する等の活動を通して、暫定定員解消の取り組みが望まれる。
- (2)マニュアル：支援の可視化としてマニュアルが策定されている。社会のニーズに対応できるよう柔軟な支援機能の実践・改善の取り組みをより可視化するため、マニュアルの策定・改正年月日の表示が求められる。
- (3)施設が近隣の避難場所として、備蓄の充実に力を注いでおり、その備蓄品は、施設内の1ヶ所に集中管理されている。今後想定される多様な災害態様に対して有効活用するために、分散管理の検討が望まれる。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

第三者評価を通して、支援の振り返りやマニュアル等の見直し等、職員間で話し合ういい機会を持つことが出来ました。受審する中で、一つ一つの項目について、具体的に振り返ることが出来、評価機関の方から丁寧でわかりやすく説明して頂き多く学ぶことが出来ました。

今回の評価において、高く評価して頂いた所は、職員の大きな励みとなり自信に繋がりました。

今後は、改善点や評価機関の方から助言頂いた内容を検討して、支援やサービスの質の向上に努め、より良い施設を目指し取り組んでいきたいと思っております。

⑨第三者評価結果（別紙）

（別紙）

自己評価結果表【タイプA】（母子生活支援施設）

共通評価基準（45項目） I 支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。	○
<input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	○

<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、母親と子どもへの周知が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	○
【コメント】	
理念・基本方針は、母子生活支援施設の使命・役割をしっかりと把握した策定となっている。具体的には、運営指針と支援方針にわかりやすく記され、施設の刊行物や職員会議・利用者へは職員からの直接説明や施設内掲示等を通して、利用者および地域関係機関に周知する取り組みがなされている。	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○
<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの数・母親と子ども像等、支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする母親と子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	
<input type="checkbox"/> 定期的に支援のコスト分析や施設入所を必要とする母親と子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	
【コメント】	
管理者が紀南地方児童福祉施設組合であり、5町（白浜町・田辺町・上富田町・すさみ町・串本町）の福祉事業のニーズに対応できる施設運営がなされている。 5町のみならず広く県の母子状況を把握する手段として、月別の入退所数・一時保護数、理由（入所や保護に至らなかったケース事由）等进行分析し、利用者へのインケアにとどまらず、地域の母子の状況を把握するとともに、そのニーズに対応できる積極的な取り組みが望まれる。	
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
<input type="checkbox"/> 経営環境や支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○
<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	○
<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○
<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	○
【コメント】	
組合と施設が施設運営について、常に現況・課題・改善点を共有するとともに、議会を介して関係各位に、施設内では職員と情報共有を密にしている。また、表出された運営面・支援面の課題については、組合と共同した改善の取り組みが行われている。	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○
<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	○
<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	

【コメント】
 理念と基本方針をもとに、母子生活支援施設の使命、人事、施設整備、地域協同等の組織体制が示されている。「利用者の安心・安全の確保」の取り組みを高めるため、施設の将来展望や課題について3～5年にわたるプランを各論にわたり具体的に可視化し、広く施設の役割を社会に情報提供する取り組みが望まれる。

②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○

【コメント】
 単年度の事業計画は、暫定定員の解消・職員のスキルアップ研修の強化など、施設の課題や強みを把握した活動計画となっている。

(2) 事業計画が適切に策定されている。

①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	○

【コメント】
 事業計画は、幹部職員によって前年度の取り組み実績をもとに素案が作成され、会議で協議し職員全員の意見を反映した編成になっている。その施行にあたっては、地域のニーズ・利用者の構成・意見を加味し、可変性・柔軟性をもって取り組んでいる。

②	7 事業計画は、母親と子どもに周知され、理解を促している。	a
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、母親と子どもに周知(配布、掲示、説明等)されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や母親会等で説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、母親と子どもがより理解しやすいような工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、母親と子どもの参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	○

【コメント】
 事業計画は、年度初めの母親集会で文書の配布・説明とともに個々の発達や理解度に合わせて説明をするなど工夫をもって周知している。また、施設内外の行事の参加は、行事ごとに詳しい案内や事後のアンケートを実施し、「母子の生活にゆとりと意欲喚起をもたらす」活動として積極的な働きかけを行っている。

4 支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果	
①	8 支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a

<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく支援の質の向上に関する取組を実施している。	○
<input type="checkbox"/> 支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	○
<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○

【コメント】

コロナ禍の中、シングルルーム入居家族を2室部屋への利用に踏み切るなど、家族間な施設内でのゾーン区分ができるように先を見据えたいち早い対策をとっている。また、全体行事の中止に対しては、個別に家族単位のイベント計画に切り替えるなど、職員一人ひとりが知恵を出し合い、支援の質を低下させない工夫・実践をしている。

②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	○

【コメント】

毎年の施設の自己評価、職員自身の自己チェックの検証とともに、前回第三者評価の結果を振り返り、課題には真摯に向き合いその対応について、マニュアルを再整備するなど、職員一丸となって日ごろの支援現場に反映させています。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果	
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○

【コメント】

施設長の業務は、管理規定はじめ事務決裁規定等に表記されてある。また、施設長は日ごろから管理職と支援スタッフの両分野で活動し、運営管理と養育支援の職務について、中長期的視野で後任へのバトンタッチに着実に取り組んでいる。

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

【コメント】

全国の施設長研修をはじめ、福祉にかかわらず多分野への研修参加や自己研さんに積極的に励み、社会福祉施設を取り巻く制度（法令・省令・条例・規程・手続き等）の情報を把握し、職員及び利用者が戸惑わないよう日頃から指示伝達を行っている。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

【コメント】

施設長は、長年にわたる支援現場のキャリアを活かして支援スタッフとしてもシフトに加わり、頼もしいロールモデルとしてその力量を発揮している。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	

【コメント】

管理者が組合という制約の中でも、人事・勤怠管理・福祉厚生等について母子生活支援施設の指名・役割を推進すべき工夫している。一方、経営面では組合議会の事務局長として議会や課長会に参加しそこで確認された経営課題や運営について、職員への周知・実行と利用者の生活意欲の向上につながる更なる取り組みが望まれる。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

第三者
評価結果

①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○

【コメント】

6人の職員構成にあって、基幹的職員・個別対応職員・社会福祉士を配し、心理サポート理士機能を充実させるため大学の臨床心理士のSV協力を得て、利用者の安心・安全及び心身の健全を確保する取り組みを行っている。

②	15 総合的な人事管理が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができている。	○
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○

【コメント】

「組織が求める職員像」を明示し、人材育成計画にそった「人材の確保・教育」と、白浜町の「人事基準に基づく職員処遇」がしっかりと施行されている。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	○
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	○

【コメント】

日ごろから利用者の安心・安全へのきめ細やかな配慮とともに、それを支える職員ひとり一人の事情に対応できる「勤務時間・休日、給与体制」等が、組合職員の条例に明確化されしっかりと稼働している。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	○
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	

【コメント】

日ごろから、職員間の高いチームワークと経験豊かな就労経歴の相乗効果をもって、スキルの高い支援が行われている。一方、施設長は「職員ひとり一人が策定した目標設定について共有」・「その取り組み・進捗状況確認と進退意思についての確認」・「目標達成度の振り返りと評価」を定期面談を通して把握する、人事体制の策定が望まれる。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 現在実施している支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【コメント】

職員は、単年度ごとに施設内外の研修に積極的に参加している。今後、参加履歴を複数年にわたりテーマ別・職員別に区分一覧化することによって、より実効性のある階層的研修の施行とともにSDS（自己啓発援助制度）の活用につなげることが期待される。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	○

【コメント】

施設は事業計画で職員の研修計画をしっかりと策定し、施設内外の研修に積極的に参加できるよう研修日程に合わせて参加職員のシフトを変更等工夫するなどして、参加の後押ししている。併せて、参加職員を軸に職員全員が研修内容について共有するOJTの仕組みがしっかりと稼働している。

(4) 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
	<input type="checkbox"/> 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生等の支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	

【コメント】

実習生受け入れに関するマニュアル・カリキュラムが作成されている。これまで受け入れの実績がない中でも、今後、いつ受け入れてもよい準備は整えている。
また、10日間の保育実習とは別途、民生児童委員や学生の視察や見学は積極的に受け入れ、母子生活支援施設の情報提供とともにひとり親家庭への理解を促す取り組みを行っている。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の実存意義や役割を明確にするように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○
【コメント】		
施設の基本情報は、ホームページやパンフレットに掲載するとともに地域の関係機関窓口にも配置してある。また、事業報告や収支決算は紀南地方児童福祉施設管理町に公開するなど、母子生活支援施設の役割や支援について広く周知する取り組みを行っている。これらの取り組みを通して、関係機関や利用者には施設の活用について更なる詳しい情報提供が期待される。		
②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○
【コメント】		
紀南地方児童福祉施設組合の財務規則・事務決裁規程にもとづき、職員周知のもと適正な取引が行われている。運用実態については、毎月の内部監査に加え、外部会計事務所に施設運営・財務管理の監督・助言を依頼し、適正な施設運営に努めている。		

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	23 母親、子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設や母親と子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の母親と子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○
	(母子生活支援施設) <input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	○
【コメント】		
地域との交流について明文化するとともに、職員・利用者ともに地域の行事や地域内活動(買い物・通勤・通院・行政手続き等)に参加する機会を活用した、「施設の理解と利用者の退所後の社会生活」の一助となる更なる積極的な取り組みに期待される。		
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b

<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	○
<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	
<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	○
<input type="checkbox"/> ボランティアに対して母親と子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	

【コメント】

ボランティア受け入れマニュアルを整備し、受け入れ態勢は整えている。近年、受け入れ実績はない中でも、「施設に受け入れる形態」から「母や子が安心して地域で活動できる理解と協力を、個人を超えて近隣住民層に広げる」など、利用者の施設生活に、よき意欲をもたらす工夫が望まれる。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

① 25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の母親と子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○
<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、母親と子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	○

【コメント】

5町の行政関係機関・民間団体等と情報を共有するとともに、連携した母子福祉推進の取り組みが稼働している。利用者には、就労や住宅の募集状況、近隣の医院・行政・金融機関・商店等の情報掲示や同行等、利用者ひとり一人の状況に寄り添った支援がインケア・アフターケアを通して体制化し、利用者の安心に取り組んでいる。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

① 26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	○

【コメント】

公私の関係機関・団体の会議の参加や施設長の地元の学校運営委員活動等、市・町・と広く関係を構築し、ひとり親家庭をはじめ母子福祉の課題とその対応に積極的に参画している。

② 27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	○
<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	
<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	○

【コメント】

建物屋上は地域住民の災害時の避難場所として活用するとともに、物資の備えも充実している。一方、近隣地域の住民の高齢化に伴い施設の機能(ひとり親支援・子育て支援)を還元する機会が制限される中であっても、対象とする地域を広めた、地域還元の取り組みが望まれる。

Ⅲ 適切な支援の実施
1 母親と子ども本位の支援

(1) 母親と子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 母親と子どもを尊重した支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、母親と子どもを尊重した支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○
【コメント】		
職員は、運営指針と支援方針に基づき日ごろから母子の心情に寄り添った支援を心がけている。併せて、全国母子生活支援施設協議会倫理綱領や施設の理念の掲示により、利用者にも施設の支援方針を開示し、利用者の辛い所に手が届く生活支援の取り組みを行っている。		
②	29 母親と子どものプライバシー保護に配慮した支援が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの母親と子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、母親と子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもにプライバシー保護に関する取組を周知している。	○
【コメント】		
プライバシー保護マニュアルを作成し、職員・利用者とも周知のもと適切な支援が行われている。特に、郵便物や宅配物は、利用者が郵便配達員が直接投函するメールボックス（施錠）や宅配配達員から直接品物を受け取る仕組みが実施されるなど、日常の細部にわたり利用者配慮への取り組みが充実している。		
(2) 支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
①	30 母親と子どもに対して支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の母親と子どもについては、個別に丁寧な説明を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもに対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	○
【コメント】		
施設紹介（使命・役割）と施設機能（生活支援・子育て支援・就労支援）を、わかりやすく冊子にまとめ、関係機関等への情報提供や利用希望者への直接説明をするなど、より一層、母子の安心・安全の確保に配慮した取り組みが期待されます。		
②	31 支援の開始・過程において母親と子どもにわかりやすく説明している。	a

<input type="checkbox"/> 母親と子どもが自らの課題を可能な限り認識し、施設が行う支援について母親と子どもができるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	○
<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程における支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。	○
<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程においては、母親と子どもの同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な母親と子どもへの配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	○

【コメント】

インケアは、「白浜なぎさホーム心得」を基に実施されている。主となる、自立支援計画策定にあたって、母へは「自立アンケートと母子支援員による面談や定期的な居室訪問による聞き取り」、子どもへは「少年指導員による面談」を通して意見要望を聞き取り、日々の支援に反映する取り組みを行っている。また、意思決定が困難な母子へは対応マニュアルを作成し、いかなる利用者に対しても職員誰しものがそん色なく母子ファースト支援ができるように研鑽している。

③ 32 支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として母親と子どもが相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、母親と子どもに対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○

【コメント】

リービングケア・アフターケア計画をしっかりと策定し、退所後も定期的アウトリーチ支援に積極的に取り組んでいる。取り組みはアフターケア記録で共有され、職員は、いかなる時でもどの退所者にも継続した対応ができる仕組みになっている。退所者が、社会で「安心・安定した生活」を維持できる更なるライフアシストの取り組みが期待される。

(3) 母親と子どもの満足の向上に努めている。	第三者 評価結果
① 33 母親と子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	○
<input type="checkbox"/> 母親と子どもへの個別の相談面接や聴取等が、母親と子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○
<input type="checkbox"/> 職員等が、母親と子どもの満足を把握する目的で、母親と子ども会等に出席している。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、母親と子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	
<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	

【コメント】

日常生活場面を通して、母子の心情の変化を敏感に察知し、個々の利用者がホッとする支援がなされている。利用者も少なく、職員との接触時間も濃厚な現在の状況で、利用者・職員双方に何ら支障なく安定した生活が確保されている。一方で、施設全体として「利用者の安心」「生きる意欲」をより向上・推進できる組織としての態様が望まれる。

(4) 母親と子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。	
① 34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
<input type="checkbox"/> 支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を母親と子どもに配布し説明している。	○
<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、母親と子どもが苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○

<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、母親と子どもに必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た母親と子どものプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○
<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【コメント】

苦情解決事業について、母と子どもそれぞれを対象に、年度初めの説明会や掲示を通して、よりわかりやすく情報提供するとともに、第三者委員は「民生委員・病院事務局長・行政OB」の3人を選任し、母子支援について多角的助言が得られるように配慮している。また、表出された意見に関して、施設は利用者のプライバシー保護に配慮しながら利用者全員の要望・意向として、職員全員でその対応に真摯に向き合っている。

② 35 母親と子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、母親と子どもに周知している。	a
<input type="checkbox"/> 母親と子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	○
<input type="checkbox"/> 母親と子どもに、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【コメント】

施設は、利用者の意見表明について入所時に文書を媒介して詳しく説明するとともに、施設内にも掲示している。また、日常的に職員からの声掛けや子育て援助、行事参加等を通しての母子がストレスを抱え込んだり自暴自棄にならないよう、積極的にかつ出しゃばらない対人援助を心掛け実践している。

③ 36 母親と子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
<input type="checkbox"/> 職員は、日々の支援の実施において、母親と子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、母親と子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	○
<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	○

【コメント】

利用者が、意見や要望・相談がいつでも気兼ねなくできるように配慮するとともに、施設からもアンケートや居室訪問・自立展望など利用者に定期的に働きかける機会を設定し、意見表明が苦手な利用者にも多岐の工夫を講じて対応している。

(5) 安心・安全な支援の実施のための組織的な取組が行われている。 第三者
評価結果

① 37 安心・安全な支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○
<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	
<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	
<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	

【コメント】

事例報告者は、ヒヤリハットと事故報告が混在している。大きな事故につながりかねない日々の些細な出来事を、発生日時や曜日・分析・対応等に一覧化することにより、より精度の高い防止策の取り組みが望まれる。また、DVIによる入所者も多く、存否応答拒否や不審者対策をはじめ母子の安全を強固にする更なる取り組みが望まれる。

②	38 感染症の予防や発生時における母親と子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	○
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	○

【コメント】

安全管理対策員を配し、資料の作成・周知とともに感染症予防に取り組み、「利用者の意識の啓発」に努めている。特に、コロナ禍では消毒・手洗いマスクの着用とともに、各戸に資料配布・家族事情に配慮した個別説明を実施している。とともに、感染・濃厚接触時の対応策として、シングルルーム居住家族を2部屋の部屋に移動させるなど、施設内及び居室内でのゾーン対策にも積極的に取り組んでいる。

③	39 災害時における母親と子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	a
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○

【コメント】

災害対策推進員が中心となり、防災マニュアルの周知や毎月の避難訓練を徹底している。各戸の防災グッズの整備とともに、建物屋上は近隣の避難場所に指定されており、施設と近隣住民を対象にした備蓄品が整備されてある。

2 支援の質の確保

(1) 支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果	
①	40 支援について標準的な実施方法が文書化され支援が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、母親と子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	○

【コメント】

理念・運営指針、「白濱なぎさホーム心得」を整備し、母子支援員・少年指導員・臨床心理士(SV)等を交えたケース会議・職員会議で支援経過を振り返り・確認しながら、権利擁護に配慮した支援に取り組んでいる。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	○

<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	○
<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	○
<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や母親と子どもからの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	○

【コメント】

項目41の取り組みとともに、面談・意見カード・居室訪問等により表出された利用者の意見・要望を検討し、「利用者の立場に配慮した」積極的な取り組みが実施できている。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員（種別によっては施設以外の関係者も）が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、母親と子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な支援の内容等が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）の合議、母親と子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な支援が行われている。	○

【コメント】

措置機関の援助計画や施設が作成するアセスメントシートの情報を活用し、利用者の中期・長期を見据えた年度の自立支援計画が、利用者の自立への要望を加味しながら策定されている。また、意思決定が困難な母子や複雑な家族事情を抱える利用者には、利用者の心情にそった細やかな個別対応を行っている。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、母親と子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、支援を十分に実施できていない内容（ニーズ）等、支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【コメント】

職員全員の参画によって策定された自立支援計画は、日ごろの支援経過や利用者の意向・家族状況の変動等、多角的に検証・見直しを行い、支援内容の追加や修正・達成的削除と、利用者の現況を改善するより密度の高い計画を確定し、成果につながる取り組みを行っている。

(3) 支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 母親と子どもに関する支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○

<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【コメント】

利用者の基本情報及び日々の支援経過（業務日誌・児童日誌・保育日誌等）は、電子媒体で記録がなされている。各職員は、毎日目を通すとともに引継ぎで直接情報の共有・交換をし、支援に空白が生じないように取り組んでいる。職員は「公文書の書き方」研修を受け、記録内容に職員間で差異が生じないように取り組んでいる。今後、記録内容にとどまらず、施設の公文書として、語句用法の統一（児童福祉司かケースワーカー、13:20か午後1時20分、R3.11.1か令和3年11月1日など）が期待される。

②	45 母親と子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、母親と子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	○

【コメント】

紀南地方児童福祉施設個人情報保護条例を基に、記録の管理・保存・廃棄等の扱いについて、しっかりと取り組みがなされている。職員は、利用者の権利侵害にもつながる電子媒体の取り扱いについて理解するとともに、日ごろから職員間で細心の注意を払っている。

内容評価基準（27項目）

A-1 母親と子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 母親と子どもの権利擁護		第三者 評価結果
①	A1 母親と子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	○

【コメント】

権利擁護については、基本姿勢を明示し各種の規定やマニュアルが整備されるとともに、職員間で共通の理解を持って取り組んでいる。取り組みについては、日々の話し合いやケース会議等で検討され、母子に寄り添った支援を実施している。母子への不適切なかかわりを防止する為、セルフチェックを実施し早期発見・早期対応に努めている。

(2) 権利侵害への対応		
①	A2 いかなる場合においても、職員等による暴力や脅かし、人格的辱め、心理的虐待、セクシャルハラスメントなどの不適切なかかわりが起こらないよう権利侵害を防止している。	a
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合を想定し、施設長が職員と利用者の双方に事実確認や原因の分析等を行うことや「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがとられている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの起こりやすい状況や場面について、具体的な例を挙げながら、研修や話し合いを行い、職員による不適切なかかわりを行わないための支援技術を習得させている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの禁止を職員等に徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことを確認している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員からの暴力や言葉による脅かしなどの、不適切なかかわりが発生した場合に対応するためのマニュアル等を整備し、規程に基づいて厳正に対応している。	○

<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりや暴力を見たり聞いたりしたら、管理者等に報告することを義務付けている。	○
--	---

【コメント】

権利侵害への対応マニュアル・接遇マニュアル等により、母子への不適切なかかわりが起こらないよう権利侵害を防止し、会議等で確認や職員体制の点検及び改善を行っている。懲戒審査規定に基づき厳正に処分を行う仕組みが整備されている。

②	A3 いかなる場合においても、母親や子どもが、暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切な行為を行わないよう徹底している。	a
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止について、具体的な例を示して、母親と子どもに周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為に迅速に対応できるように、母親と子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止を徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことの確認や職員体制の点検と改善を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為を伴わない人のかかわりについて、母親や子どもに伝え、良好な人間関係の構築を図っている。	○

【コメント】

権利擁護規定に基づき、不適切な行為を確認した時は迅速に対応できる仕組みが整えられている。職員は日頃から母子の言動に気を配りながら良好な人間関係を構築するとともに、不適切な行為の防止・早期発見に努めている。子供には、子供会等で具体的な例を示し絵本等を活用してわかりやすく説明している。

③	A4 子どもに対する暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりに迅速に対応できるように、子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識・具体的な方法について学ぶ機会を設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりを伴わない子育てについて母親に伝え、良好な親子関係の構築を図っている。	○
	<input type="checkbox"/> 常に親子関係の把握に努め、適切な助言や支援を行っている。	○

【コメント】

職員は、母子とのコミュニケーションに努め、子供からの訴えやサインを見逃さないよう心掛けている。子どもには子ども会で、自分自身を守るための知識・方法等について、具体的な例を示し、絵本等でわかりやすく説明している。職員も、日々の話し合いや会議等で検討し、子どもへの不適切なかかわりの防止について対策が講じられている。

(3) 思想や信教の自由の保障

①	A5 母親と子どもの思想や信教の自由を保障している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設において宗教的活動等を強要していない。	○
	<input type="checkbox"/> 個人的な宗教活動等は尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの思想や信教の自由については、最大限に配慮し保障している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親の思想や信教によって、その子どもの権利が損なわれないよう配慮している。	○

【コメント】

施設において宗教活動等は強要しておらず、個人的な宗教活動は尊重し、母と子どもの思想や信教の自由を尊重している。入所のしおり等に明記し、わかりやすく伝えている。

(4) 母親と子どもの意向や主体性の配慮

①	A6 母親や子どもが、自分たちの生活全般について自主的に考える活動（施設内の自治活動等）を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 子ども自身が自分たちの生活全般について、自主的・主体的な取組ができるような活動（施設内の自治会活動等）を母親の理解のもとで実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが問題や課題について主体的に検討し、その上で取組、実行、評価するといった内容を含んだ活動を母親の理解と協力のもと実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 活動を通して、子どもの自己表現力、自律性、責任感などが育つよう必要な支援をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親が自らの権利を学び、自主的に自分の生活を改善していく力を養えるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親の自治会活動等を通して、母親の自己表現力、自律性、責任感などに対する支援を行っている。	○

【コメント】

年度初めに自治会役員を投票で決める等をおこない、母親が意見を表明できる場を設けているが、コロナ禍ということもあり、活動が充分とは言えない。現状、個別に意向を確認しながら、生活改善の為に支援をおこなっているが、今後は母親と子どもが自主的に自分の生活を改善していく力を養うことができるよう、主体的に活動を行い、その取り組みを職員が支援していくことを期待する。

(5) 主体性を尊重した日常生活

①	A7 日常生活への支援は、母親や子どもの主体性を尊重して行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親や子どもの自尊心や強みを大切に支援を行い、自己肯定感が回復し高まるような支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもに対してストレングスの視点に基づいて、エンパワメントしていく支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 常に母親と子どもの主体性を尊重した支援を通して、その人が力を発揮できるよう支援を行っている。	○

【コメント】

職員は、日常の会話の中から母親や子どもの話に傾聴し、本人の自信に繋がるよう言葉かけを行い、それぞれの強みを生かした支援に努めている。また、自立に向け必要な情報を提供し、自己決定できるように支援している。母親と子どもの主体性を尊重しながら、生活する能力を引き出し、それを支え将来の希望に繋げる寄り添った支援を行っている。

②	A8 行事などのプログラムは、母親や子どもが参画しやすいように工夫し、計画・実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 母親や子どもが施設での生活を楽しめるような企画を用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの主体的な参画を前提とした行事・プログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親向けのプログラムでは、母親が安心して参加し楽しめるように、保育などのサポートを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親や子どもの状況を考慮し、参加しやすいように内容・時間等を工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 行事等の実施後に、評価を行い次回の実施につなげている。	○

【コメント】

現状、コロナ禍により集団での行事等は実施できていない。それでも密にならないように工夫し、母の日の贈り物や七夕の飾りつけ等の製作を行っている。今後は弁当を配布し、母子が楽しめる遠足を計画のうえ近日中に実施することになっている。行事計画等にあたっては、母子それぞれの意見をくみ取るように配慮し、実施後はアンケート調査を経て、結果をもとに職員による振り返り・評価が行われている。

(6) 支援の継続性とアフターケア

①	A9 母親と子どもが安定した生活を送ることができるよう、退所後の支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 退所後の支援が効果的に行われるよう、退所後の支援計画を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 退所した地域で安定して暮らすために、必要に応じて退所先の行政機関をはじめ、多様な地域の関係機関や団体とネットワークを形成し、母親と子どもが適切な支援が受けられるようにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 退所後も電話や来所によって施設に相談できることを母親と子どもに説明し、生活や子育て等の相談や施設機能を活用した(学童保育・学習支援・施設行事への招待等)支援を提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 退所後の生活が安定していることを確認するための往訪や架電等の取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて退所先に往訪し、介助や同行・代行等の支援を行っている。	○

【コメント】

退所後の支援計画を作成のうえ、退所後の母親と子どもが地域の中で安心して生活できるように支援している。退所者の意向を確認しながら、家庭訪問や関係機関への同行等の支援を行い、継続的に退所者と繋がることを目的としたアフターケアが実施できている。

A-2 支援の質の確保

(1) 支援の基本

①	A10 母親と子どもそれぞれの個別の課題に対応して、専門的支援を行っている。	第三者 評価結果 a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもがそれぞれ抱える個別の課題に対して、目的や目標を明確にし計画的で一貫した専門的支援を行っている。	○

<input type="checkbox"/> 母親と子どもの課題を正しく理解し、親子・家庭のあり方を重視した支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 母親と子どもが、自己の意思で課題を解決できるように個々の気持ちに寄り添った支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 資料等を使いながら、必要な手続きをわかりやすく説明し、必要に応じて職員が機関等への同行及び代弁を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 専門的な支援を行うために、その支援に必要な資格や経験等を考慮した職員を配置し、職員間で連携・協議を行っている。	○

【コメント】

母親と子どもがそれぞれに抱える課題をアセスメントにより明らかにし、それぞれのニーズに応じた支援を計画的に行っている。課題やニーズに対しては、母親と小学生以上の子どもには、アンケートに記入してもらいながら目標を立てて話し合いを行い、説明と同意・自己選択・自己決定等に配慮しながら支援している。また支援内容については職員間で共有し、連携・協議をおこない、必要に応じて職員が資料の作成や関係機関等への同行及び代弁を行っている。

(2) 入所初期の支援

① A11 入所に当たり、母親と子どもそれぞれのアセスメントに基づき、生活課題・ニーズを把握し、生活や精神的な安定に向けた支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 入所直後は心理的に不安になりやすいため、信頼関係の構築に心がけ、心の安定に向けた相談支援に努めている。	○
<input type="checkbox"/> 母親と子どもが安心して施設を利用し、課題の解決に向かえるように、関係機関等と連携して情報提供に努めている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもが保育所・学校に速やかに入所・通学できるよう支援している。	○
<input type="checkbox"/> 必要に応じて、生活用具・家財道具等の貸し出しを行っている。	○
<input type="checkbox"/> 居室は、母親と子どもが生活するために必要な十分なスペースが確保され、プライバシーに配慮したものとなっている。	○
<input type="checkbox"/> 身体に障害のある母親や子どもに対しても、安全に生活ができるように配慮している。	○

【コメント】

入所初期は新しい生活への不安や戸惑いが大きいため、居室への訪問回数を多くする等コミュニケーションを充分にとり、母親と子どもの気持ちに寄り添いながら信頼関係を築いている。また、母親の了解のもと関係機関との連携を密にとり、必要に応じて手続きや同行支援・送迎支援等を行っている。生活に必要な家電等の貸出準備を行い、居室の環境を整え、安心・安全に施設生活がスタートできるように支援している。

(3) 母親への日常生活支援

① A12 母親が、安定した家庭生活を営むために必要な支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 生活経験に乏しい母親には、職員と共に行うことで経験を補う等の支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 心やからだの健康に不安を持つ母親には、相談に応じたり、医療機関への受診を促したりするとともに、栄養管理等の食生活への支援を行うなど、ニーズに応じた健康管理のための支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 必要に応じて、衣服の清潔保持や入浴など、気持ちよく暮らすために必要な衛生面への支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 経済的に安定した生活を送るために、必要に応じて家計の管理、将来に向けた貯蓄等の相談や支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 支援の必要性やニーズに応じて、家事・育児等、日常生活全般について、代行や介助等の支援を行っている。	○

【コメント】

母親の生育歴・生活歴や生活スキルを踏まえ、本人と相談しながら基本的な生活習慣の維持・獲得のための生活全般の支援や育児支援・金銭管理（貯蓄等の相談）・医療機関等への送迎・同行支援等を行っている。衣類の状況や入浴についても気を配り、必要であれば職員が母親と一緒に家事等を行ったり、母親の不安や思いに寄り添いながら支援している。

② A13 母親の子育てのニーズに対応するとともに、子どもとの適切なかわりができるよう支援している。	a
<input type="checkbox"/> 母親の育児に関する不安や悩み等の育児に努め、その軽減に向けた相談や助言、介助等を行うとともに、必要に応じて保育の提供や保育所へつなぐ等の支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 母親の状況に応じ、子どもの保育所・学校等への送迎の支援を行っている。	○

<input type="checkbox"/> 母親が子どもを客観的に理解できるように、発達段階や発達課題について示し、適切な子育てやかかわりについてわかりやすく説明している。	○
<input type="checkbox"/> 虐待や不適切なかかわりを発見した時は職員が介入し、必要に応じて専門機関との連携を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもが通う保育所や学校と連携している。	○

【コメント】

職員は日頃から母親へのきめ細かな声かけを行っており、状況把握しながら子育てや子どもへの関わりについて、わかりやすく説明するように努めている。母親のニーズや状況に応じて、子どもの保育所送迎支援・病院への送迎支援・家事支援等を行っている。また週2回の降園後保育や必要に応じた補完保育も行っている。子どもに対して不適切な関わりが見られる場合は、職員が介入し状況に応じて児童相談所等の関係機関に報告している。

③ A14 母親が安定した対人関係を築くための支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 母親が職員とつながっていることを実感できるよう、様々な場面で気軽に声をかけたり、相談に応じるなどの取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設を自分の居場所として感じられるように、母親どうしが集うための機会や場を設け、交流を促すなどなど、関係づくりのための支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 対人関係がうまくできない母親には、母親のペースに合わせた関係性の構築に配慮を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 社会との関係をとることの難しさから対人関係にストレスを生じている場合は、そのストレスの軽減が図られるよう、心理療法を行ったり相談に応じたりしている。	○
<input type="checkbox"/> 施設内の他の母親や子どもとの間でトラブルが生じたときに、その関係性を修復もしくは改善するための支援を行っている。	○

【コメント】

母親と職員が繋がっている事を実感できるよう常に見守り、外出時や帰宅時等に温かみのある声かけを行って話しやすい雰囲気をつくっている。対人関係がうまくできない母親には、本人のペースに合わせて話を聞いたり、相談に応じる等の配慮がなされている。カウンセリングが必要な場合は、状況に応じて職員が同行支援を行っている。また、定期的に訪問する臨床心理士のアドバイスも受けられるよう体制が作られている。

(4) 子どもへの支援

① A15 健やかな子どもの育ちを保障するために、養育・保育に関する支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 子どもの成長段階、発達段階に応じた養育支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 放課後の子どもの生活の安定や活動を保障し、活動場所、プログラム等を用意するとともに、日常生活上必要な知識や技術の伝達、遊びや行事等を行っている。	○
<input type="checkbox"/> DVを目撃した子どもを含め、被虐待児等や発達障害を含む様々な障害等の特別な配慮が必要な子どもに対しては、必要に応じて個別に対応し、子どもの状況に応じた支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 母親のニーズや状況に応じて、施設内の保育支援や保育所への送迎、通院の付き添いなどの支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設内における養育・保育に関する記録を整備し、支援に役立てている。	○

【コメント】

子どもの成長・発達段階に応じた養育支援を行い、母親の状況やニーズに応じて病院の付き添いや保育所等への送迎等を行っている。帰宅後の子どもが楽しく安全に過ごせるように、遊びの見守りや学習支援・降園後保育等を行っている。被虐待児童や発達障害等の配慮が必要な子どもに対しては、病院の同行や状況に応じて個別に対応する等必要に応じた支援がなされている。職員は、子どもとしっかりと向き合いじっくり話を聞き共感する姿勢を大切にしている。

② A16 子どもが自立に必要な力を身につけるために、学習や進路、悩み等への相談支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 落ち着いて学習に取り組める環境を整え、年齢に応じた適切な学習支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 学習の習慣を身につけるとともに、学習への動機づけを図っている。	○
<input type="checkbox"/> 進学や就職への支援について、母親と子ども双方の意向をくみ取り、学校と連携して情報提供を行いながら、具体的な目標を定めている。	○
<input type="checkbox"/> 学費の負担軽減のため、各種の奨学金や授業料の減免制度等の活用への支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 学習指導のために学習ボランティア等の協力を得ている。	○

子ども一人一人の個別性を重視した相談・支援を行っている。

○

【コメント】

子どもが落ち着いて学習に取り組むことができるよう環境を整備し、また職員が個別に学習支援を行う等体制が作られている。母親と子どもの意向をくみ取りながら相談支援をおこない、進学や就職・学費面での各種制度の活用等についての情報提供を行っている。本人の意思を確認しながら、学校や医療機関と連携し、情報提供等を行いながら支援にあたっている。

③

A17 子どもに安らぎと心地よさを与えられるおとなのかかわりや、子どもどうしのつきあいに配慮して、人との関係づくりについて支援している。

b

母親以外のおとなにも受け入れられたり、甘えられたりする経験を増やし、おとなとの信頼関係が構築できるよう支援している。

○

ボランティアや実習生など、様々なおとなとの出会いの機会を設け、多様な価値観、生き方への理解をすすめている。

○

悪意や暴力のないおとなモデルを提供することで、おとなに信頼感を持てるよう支援している。

○

自分の気持ちをことばで適切に表現し相手に伝えることについて、日常生活の中でその方法を意識的に伝え、その能力が向上するよう支援している。

○

専門的なプログラムに基づいたグループワークを積極的に取り入れている。

【コメント】

子どもの帰宅時や降園後保育等で職員と遊んだり触れ合ったりする事で、安心感や心地良さを感じ、大人との信頼関係が構築できるように支援している。コミュニケーション力を高めるために会話を心掛けた声かけを行ったり、子どもからの発言を大切に、日常生活の中で子ども自身が自分の思いを伝えられ、向上できるような支援を行っている。不登校児を対象に地域のふれあいルームの参加を促し、様々な大人と出会う機会を作っている。今後はコミュニケーション能力を上げていけるようなグループワークを積極的に取り入れ、子ども同士の育ちあう力を活用していくことを期待する。

④

A18 子どもの年齢・発達段階に応じて、性についての正しい知識を得る機会を設け、思いやりの心を育む支援を行っている。

b

性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に正確な知識を持って応えている。

○

職員間で性教育に関する知識や、性についてのあり方などの学習会を行っている。

○

年齢、発達段階に応じて、性についての正しい知識、関心が持てるよう支援している。

○

年齢に応じた性教育の計画があり、正しい性知識を得る機会を設けている。

○

必要に応じて外部講師を招く等して、性教育のあり方について学習会などを職員や子どもに対して実施している。

【コメント】

性教育についての目標や年齢に応じた性教育の計画は立案している。絵本等を利用し、小学生児童に向けた性教育については取り組んでいるが、年齢に応じた取り組みについては十分とは言えない。今後は必要に応じて外部講師を招く等して、年齢に応じて性に対して正しい知識を得る取り組みを期待する。

(5) DV被害からの回避・回復

①

A19 母親と子どもの緊急利用に適切に対応する体制を整備している。

a

緊急時に備えて、夜間でも対応できる体制を構築している。

○

24時間の受け入れや広域利用など、広く母親と子どもの緊急利用を受け入れている。

○

役割分担と責任の所在を明確にし、配偶者暴力相談支援センター・警察署・福祉事務所等との連絡調整体制を整えている。

○

緊急時対応マニュアルを作成・整備している。

○

緊急利用のための生活用品等を予め用意している。

○

【コメント】

緊急一時保護マニュアルを作成のうえ日直員・宿直員を含む全職員で周知されている。受け入れ時に素早い対応ができるよう、どの職員でも24時間受け入れできる体制づくりが整備されている。また、役割分担と責任の所在を明確にすると共に連絡体制を整えられ、すぐに生活できるよう居室はもとより生活必需品等を貸与できるよう予め用意している。

②	A20 母親と子どもの安全確保のために、DV防止法に基づく保護命令や支援措置が必要な場合は、適切な情報提供と支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 保護命令制度や支援措置・DV相談証明の活用について、情報提供を行うとともに、必要に応じて法的手続きのための同行等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 弁護士や法テラスの紹介や調停・裁判などへの同行等、さらに必要に応じて代弁等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> DV加害者に居所が知れ、危険が及ぶ可能性がある場合には、母親と子どもの意向を確認した上で、速やかに関係機関と連携し、保護命令の手続きや他の施設への転居等の支援を行っている。	○

【コメント】

DV防止法に基づく保護命令や支援措置・調停や裁判等については、必要に応じて情報提供を行い、母親に十分説明のうえ同意を得てから法的手続・同行・代弁支援等を行っている。危険が及ぶ可能性がある場合は、母親と子どもの意向を確認の上、福祉事務所等の関係機関と連携し転居の支援を行っている。施設内外に防犯カメラを設置、居室内には非常通報ボタン、夜間は宿直員が常駐するなど支援の強化を図っている。母親と子どもへの精神的フォローに努めながら、法律の専門家等と共働した支援体制を構築し、母親と子どもが望む安全で安心できる生活の実現に向けて支援している。

③	A21 心理的ケア等を実施し、DVの影響からの回復を支援している。	a
	<input type="checkbox"/> DVについての正しい情報と知識を提供し、DV被害者の理解を促し、自己肯定感を回復するための支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> DVから脱出することができたことを評価し、安心し安定した生活と幸せな未来について、職員と一緒に考え支援することを伝えている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理療法を活用し、医師やカウンセラーと情報交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、自助グループや外部の支援団体等の紹介を行っている。	○

【コメント】

暴力被害から逃れてきた母親には、まず、自らの意思で暴力を拒否し逃げられたことを評価するようにし、今までの行動については、共感と肯定をしながら支援するよう心掛けている。また職員が母親と一緒に考えながら支援していく事を伝え、自信・自尊心・自己肯定感を回復していける心理的なケアを実施し支援している。必要に応じて、カウンセリングを勧めたり医療機関等につなぐ支援を行っている。

(6) 子どもの虐待状況への対応

①	A22 被虐待児に対しては虐待に関する専門性を持ってかわり、虐待体験からの回復を支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 暴力によらないコミュニケーションを用いるおとなのモデルを職員が示している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもと個別に関わる機会を作り、職員に自分の思いや気持ちを話せる時間を作っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であることを伝えることや、感情表現を大切にすることで、自己肯定感や自尊心の形成に向けた支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 医療機関や児童相談所などの関係機関と必要な情報の交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理療法担当職員によるカウンセリング等の専門的ケアを実施している。	
	<input type="checkbox"/> 被虐待児に対する支援の専門性を高めるための職員研修等を行っている。	

【コメント】

了解を得て居室訪問を行い、子どもと個別に関わる機会を持っている。話を聞き、自分の思いや気持ちをゆっくり話してもらえよう配慮している。子どもが自己肯定感を高められるよう、気持ちに寄り添いながら信頼関係を築くことに努め、暴力に頼らないコミュニケーションを用いる大人のモデルを職員が示すよう努めている。今後、さらに専門的ケアを実施していくためにも、心理担当職員の配置と職員研修の充実等の取り組みを期待する。

②	A23 子どもの権利擁護を図るために、関係機関との連携を行っている。	a
---	------------------------------------	---

<input type="checkbox"/> 児童虐待の発生やその疑いがある場合は児童相談所に通報し、連携して対応している。	○
<input type="checkbox"/> 被虐待児童に対しては、必要に応じて、心理判定や児童精神科医との相談などの児童相談所機能を活用している。	○
<input type="checkbox"/> 必要に応じて、福祉事務所や保育所・学校・病院等と情報交換や連携を図り対応している。	○

【コメント】

子どもの最善の利益を優先し、児童虐待の疑いがある場合は、福祉事務所・児童相談所に報告のうえ連携を取りながら支援がなされている。また、必要に応じて保育所・学校・病院等とも情報交換や連携を図り対応もしている。入所時において、場合によっては関係機関等と連携を取ることにきちんと母親に説明している。

(7) 家族関係への支援

① A24 母親や子どもの家族関係の悩みや不安に対する相談・支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 母親の家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	○
<input type="checkbox"/> 家族の中に感情の行き違いや意見の相違がある場合、適切に介入し調整を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 必要に応じて、他の親族との関係調整を行っている。	○

【コメント】

母親と子どもそれぞれの考えを尊重し、職員はいつでも相談を受けられるよう親子関係の調整を図りながら、悩みや不安の軽減に繋がるよう支援している。母親と子どもの感情の行き違いや意見の相違がある場合も、それぞれの関係を尊重して相談に応じ、適切な介入・調整が図られている。

(8) 特別な配慮が必要な母親、子どもへの支援

① A25 障害や精神疾患、その他の配慮が必要な母親と子どもに対する支援を適切に行い、必要に応じて関係機関と連携している。	a
<input type="checkbox"/> 社会資源の積極的な活用をするための支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 公的機関や就労先、保育所や学校等と連携した支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 精神疾患があり、心身状況に特別な配慮が必要な場合、同意を得て主治医との連携のもと、通院同行、服薬管理等の療養に関する支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 障害や精神疾患がある場合や外国人の母親や子どもへは、必要に応じて公的機関、就労先への各種手続きの支援を行ったり、保育所、学校等、他機関と連携し情報やコミュニケーション確保の支援を行っている。	○

【コメント】

障害や精神疾患、その他配慮が必要な母親と子どもに対しては、状況に応じて様々な社会資源を活用するとともに関係機関と連携を図り、本人の意思確認等をしながら通院同行等の支援を行っている。ヘルパーや放課後デイの利用等、それぞれの家庭の状況に応じて適切な情報提供をおこない、サービスの利用に繋げている。

(9) 就労支援

① A26 母親の職業能力開発や就労支援を適切に行っている。	b
<input type="checkbox"/> 母親の心身の状況や能力・適性・経験・希望に配慮した支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 資格取得や能力開発のための情報提供や支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 公共職業安定所以外にも、バーチャルワークや母子家庭等就業・自立支援センター等、様々な機関との連携や調整、必要に応じて、同行や職場開拓等の支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 母親が安心して就労できるように補完保育(残業や休日出勤時の保育等)、病後児保育、学童保育などを行っている。	○

【コメント】

母親の心身の状況や本人の意向に配慮し、ハローワークや関係機関と連携を図りながら必要に応じた同行支援を行っている。また、能力開発や資格取得のための情報提供も行っている。必要に応じて補完保育や学童見守り保育等は実施しているが、施設内保育所の休日対応等は現状ニーズがない為実施していない。今後、必要性がある場合、速やかに実施できる体制づくりを期待する。

②	A27 就労継続が困難な母親への支援を行い、必要に応じて職場等との関係調整を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 職場環境、人間関係に関する相談や助言など、個々に対応した幅広い支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親が望む場合、就労継続のために職場との関係調整を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 障害がある場合や外国人の母親の場合、その心身等の状態や意向に配慮しながら、就労の継続に向けての支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 就労継続が困難な母親を積極的に受け入れている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて福祉的就労の活用を図っている。	○

【コメント】

障害がある母親の場合、本人の心身の状況や意向に配慮しながら、医療機関・相談機関の支援員等と連携し、福祉的就労や就労継続の関係調整を行っている。福祉作業所から一般就労へ移行した実績があるとともに、いくつかの企業等には就労支援に協力をしてもらっている。また、職場環境や人間関係に不安を持つ母親には、本人の思いを傾聴し、励ましや相談・助言等を適切に行い手厚い支援を行っている。